

三エース専修

【専修大学】ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部590円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 【新学部長に聞く】蔡仁錫経営学部長／渡辺達朗商学部長……②
- 育友会支部懇談会 山梨・東京・福岡(博多)参加者の声……③
- 「2016専大カップ」神奈川県学童軟式野球選手権大会……④
- 大関さん(商2)快挙 アマ本因坊・学生本因坊同時制覇……⑤
- 黒田投手(平9商) 日米通算200勝祝い専大から記念品……⑥
- 石巻専修大学「学科間ジョイント」国内留学制度来年度導入……⑦



台風10号で被災された皆様へ
生および保護者の皆様によりお見舞い申し上げます。本学では自然災害被災世帯学生に対し経済的支援を講じています。また、日本学生支援機構奨学金(緊急・応急)の申請も受け付けます。該当する方は左記までご連絡をお願いいたします。
(学生生活課)

【一部学生】生田学生生活課
【一部学生】生田学生生活課
【大学院生】生田大学院事務課
▽神田大学院事務課
▽法科大学院事務課

挑戦し続ける胆力

佐々木重人新学長に聞く

第17代学長に佐々木重人商学部教授が9月1日付で就任した。2020年の創立40周年に向けてのキャンパス構想への決意と、目指すべき教育ビジョンなどを伺った。



〔経歴〕1978年専修大学商学部会計学科卒業。83年専修大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(経営学)。83年専修大学商学部助手。88年同助教授。95年同教授。2013～16年商学部長。11～13年税理士試験委員。専門は会計史。最近の著書▽『近代イギリス鉄道会計史—ロンドン・ノースウエスタン鉄道会社を中心に—』(2010年、国元書房)▽共著『体系現代会計学第5巻 企業会計と法制度』(11年、中央経済社)▽共著『歴史から見る公正価値会計—会計の根源的な役割を問う—』(13年、森山書店)

魅力あるキャンパス推進

—新学長としての抱負をお聞かせください。
改革の真ただ中で学長を引き受けることになりました。各学部の新しい挑戦を応援し、さまざまな意見を聞きながら、具体化できるものから着手し、目に見える改革を進めていきたいと思っております。

—一番は矢野建一前学長(4月25日に急逝)がお亡くなりになる直前まで尽力されていた創立40周年に向けての神田新キャンパス整備です。既存の法学部に加え、国際系新学部を新設、生田キャンパスから商学部を移

転するという骨子は固まりました。神田で3学部の魅力を受容し合える体制を実現する。これを私の第一の仕事として実行していきます。

同時に、専修大学はどのような学生を迎え入れ、どういった教育をし、社会に送り出していくのかという、いわゆる「アドミッション・ポリシー」、

「カリキュラム・ポリシー」「ディプロマ・ポリシー」を完全な形でまとめあげるのも喫緊の課題です。前学長の作業を引き継ぎ、仕上げなくてはならないと思っております。

—どのような学生を育てたいとお考えですか。
先般、プロ野球広島黒田博樹投手(平9商)が日米通算200勝を達成しました。苦勞した下地をとて大切にしている。理想的な卒業生の姿を見ることが出来ます。黒田投手には今年、新入生向けのDVDにも登場していただきました。「チャレンジ」そして「あきらめない」それが学生時代に必要だということをおっしゃっています。そのメッセージは同時に専修大学のメッセージに貢献するの、その可能性の一端を示すことを先生方には期待します。

—国際系学部が新設されると、新しい学びが生まれませんか。
グローバル化社会において、環境の変化に対応するための知恵を出し切る。そのための準備をさせていきたい。150年に向けて生田キャンパスの魅力を引き出す。新しい学部なり学科なりを整備する必要があります。既存の学部と相乗効果を発揮できるように、若い教員が中心になってアイデアを出してもらいたいですね。

—今年度、生田新2・3号館が完成します。今後の神田キャンパス整備を含め課題はありますか。
神田キャンパスの整備にあたっては、現校舎と新校舎の融合を図り、一体化した都市型キャンパスとしての魅力を打ち出していきます。社会知性の開発に向けた新たな教育・研究拠点となるよう決意を新たにしています。課題の一つとして、体育会に所属する学生に対しては、学長としての義務だと思っています。

—多くの先生から薫陶を受けてきた。「楡田信男先生の影響で研究職を志し、国際的視野を

—多くの先生から薫陶を受けてきた。「楡田信男先生の影響で研究職を志し、国際的視野を

「安心して学生生活を」

専修大学育友会支部



職員が全国に向いてご父母・保護者に学業、学生生活、就職などの最新の情報を伝え、悩みや質問に答える育友会(出雲高志会長の支部懇談会が7、8月に67支部63会場で開催された)3面に関連記事。

また教職員は、災害見舞学生制度に特別措置を加える被災世帯への経済支援策や学業、学生生活、就職活動について情報を伝えた。校友会熊本県支部からは橋口光徳支部長(昭51法)、園田賢治幹事長(昭56文)が出席、熊本県の企業や就職事情について説明した。グループ・個別相談会では、ご父母・保護者が熱心に質問していた。徳永支部長は「今年はほぼ例年通りの参加人数だった。幸いなことに支部の皆さんから地震による甚大な被害を受けたという報告は少なかった。本日の大学側の支援と協力には意を強くした」と語った。

文学部3年次生女子の父、玉名市の平瀬貴久さんは「懇談会には1年次から参加してきた。教職員のお話から大学の支援態勢に、子どものことは心配しないでと安心して」と感謝の気持ちを表した。

「多くの先生から薫陶」

—多くの先生から薫陶を受けてきた。「楡田信男先生の影響で研究職を志し、国際的視野を

—多くの先生から薫陶を受けてきた。「楡田信男先生の影響で研究職を志し、国際的視野を

被災支援に感謝

「学生が安心して学生生活を送れるように」。熊本地震から4カ月が過ぎた8月28日、熊本支部(徳永善己支部長)の懇談会が熊本市内で開かれ、ご父母・保護者44人が参加し、大学側の話に耳を傾けた。

松本健一専務理事、庄菊博育友会主任教授(法)